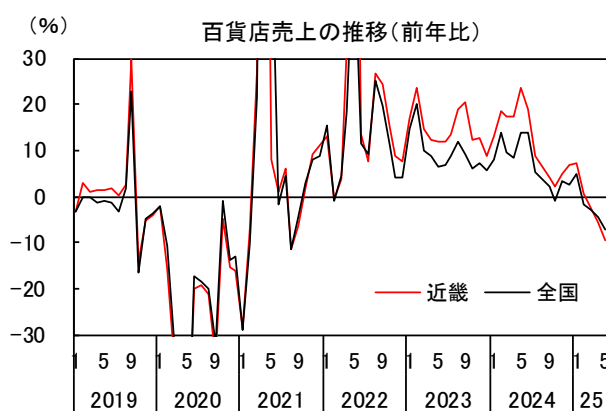
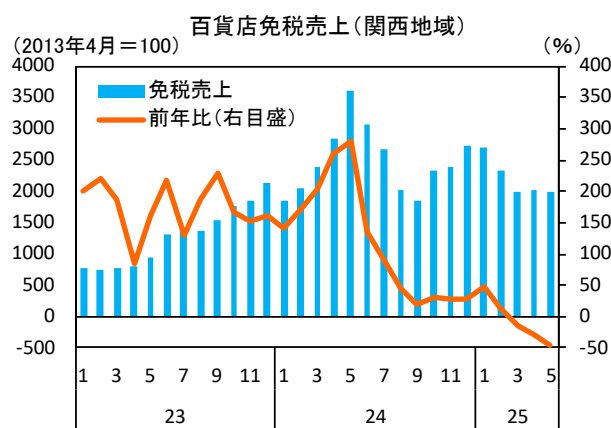


関西の景気トピックス【消費関連（25 年 5 月）】

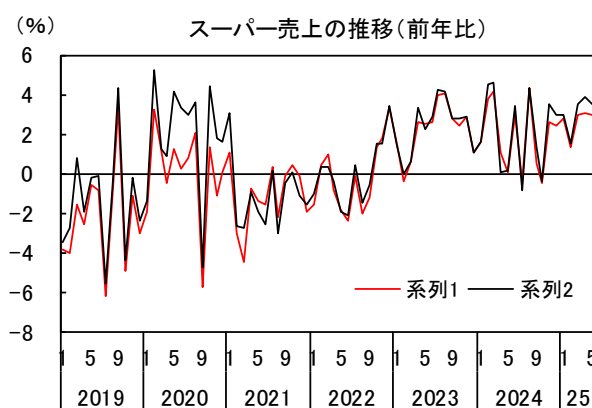
- 25 年 5 月の百貨店売上（経済産業省）は前年比マイナス 9.3%と 3 か月連続の減少となった。訪日客数の増加傾向は続いているものの、円高の進行などにより、インバウンド売上の伸びが鈍化した。一方、スーパー売上の 5 月は前年比プラス 3.0%と、米価格や食料品価格の高騰などを背景に、売上が前年を上回る動きが続いている。
- コンビニ売上（経済産業省）は、5 月は全店ベースで前年比プラス 4.9%と 3 か月連続の増加となった。22～23 年頃の増勢に比べるとやや低調ではあるものの、全体としては前年を上回る傾向が続いている。
- 住宅着工戸数（国土交通省）の 5 月は、前年比マイナス 9.6%と 6 か月ぶりの減少となった（3 か月移動平均）。今月は改正省エネ法の導入前の駆け込み需要が一巡し、その反動で前年を大きく下回っている。
- 各業界で売上が前年を上回るも、値上げによる単価上昇の影響もあり、需要の強さを示すものとは言い切れない。今後も先行きには警戒が必要とみられる。



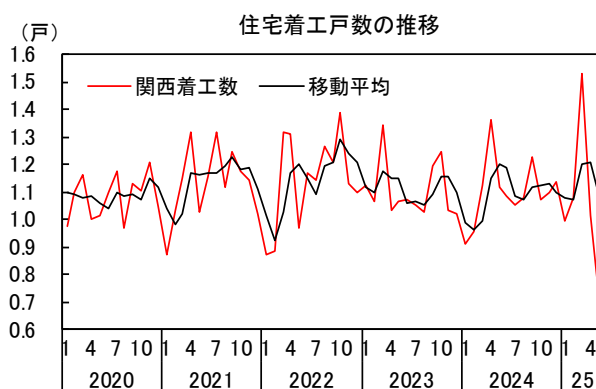
（出所）経済産業省「大型小売店販売状況」



（出所）日本銀行大阪支店



（出所）経済産業省「大型小売店販売状況」



（出所）国土交通省「建築着工統計」